

## 中学生の「税についての作文」

福岡県筑後県税事務所長賞

### 「税金の使われ方を知ること」

大木町立大木中学校

三年 西村真菜

私達が普段払っている税金は、何に使われているのだろうか。私はこんな風に考えながら生活していた。しかし近年、身近なところで地震や豪雨などさまざまな災害が度々起きている。このことがきっかけで税金について考えるようになった。

今年の七月には、豪雨災害が起き、九州、中国、四国地方と幅広い地域が被害にあった。私自身に被害はなかったが、家の裏のクリークも氾濫するぎりぎりのところまできていてもし氾濫したらどうしようと、とても怖かった。しかし、大きな被害にあわれた方たちはもつと怖い思いをされたと思う。広島県などでは、土砂くずれなどに巻き込まれてたくさんの方が亡くなられているのをテレビで見て言葉が出なかつた。自然災害はいつ、どこで起きるか分からないからこそ恐ろしいものだと感じた。そんな恐ろしい災害から数日後、テレビではたくさんの自衛隊や消防の方々が取り残されてい

る人の救助や、壊れた建物の復旧などをされている映像が流れた。その救助や復旧などには、普段私達が払っている税金などのお金が使われていることを知った。税金を払うことで被害にあった人の命や生活の役に立っているんだと思うと、なんだか、心が温まった。税金が使われているのは、災害からの人命救助だけではない。橋や道路の整備、環境の保護、私の一番身近なところでは、教科書の無償制度などたくさんのところで税金は役立っていることが分かった。税金はかせないものだと思った。

近々、消費税は八パーセントから十パーセントまで上がる予定だ。熊本地震から二年、九州北部豪雨から一年、今年あった豪雨災害からは一カ月以上たっている今でも被害にあわれたたくさんの方々は不自由な生活をされている。復興するにはたくさんの時間とお金が必要になってくる。私は、復興などのために税金が上がることはしかたのないことだと思う。しかし、税金を上げることで生活に困る人だっていると思う。上げることで助けられる人もいれば、困る人もいる。税金はすごく難しい問題だけど集める以上、復興や本当に必要な人たちのために大切に使うてほしいと思うようになった。私がこのように考えることができるようになったのは、税金の使われ方を知ったからだ。

今までの私のようにどうして税金を払わないといけないのだろうと思っている人もいるだろう。しかし使われ方を知ることや気持ちのよい納税ができるようになると思う。こんな人を増やすためには、たくさんの人に税金の使われ方を知ってもらう必要があると思う。